

公益信託世田谷まちづくりファンド

第20回助成事業 災害対策・復興まちづくり部門 審査講評

芦花公園しあわせの野音の会

音楽が、笑いが創り出す人々の心の余裕とつながりを、芦花公園での長い活動から確信され、宮城県亶理郡亶理町の人々におすそ分けしているのだな、と思いました。「縁日」が非日常から日常を豊かにするものだとすれば、音楽や笑い、おいしい食べ物は確かに不可欠ですね。仮設住宅で孤立しがちな人々に、都会での孤立と取り組んできた私たちにできることがある、という主張にも、はッとさせられました。世田谷に何を持ち帰ってくれるのか楽しみです。

様々なタレントでもってその場を音楽と笑いで盛り上げる、みなさんの活動ノウハウや知見、ネットワークをうまく生かした活動になっていると感じました。仮設住宅の中での交流が少なくて困っている、という住民のみなさんのニーズにも沿ったものと思います。ひとつ心配があるとすれば、年度の活動を通じて現地に行ける回数と滞在期間が限られている中で、住民のみなさんのコミュニティづくりがどこまでできるか、という点です。縁日当日だけでなく、その前後で住民のみなさんにうまく能動的に参加・協力してもらえようなしかけづくりが必要かもしれません。被災地におけるコミュニティづくりは世田谷でも重要な活動になってくるので、ぜひうまくその課題をクリアしてほしいと思っています。また、可能であれば、今回助成からもれてしまった団体にもお声がけしてもらえると何よりです。一年の活動の成果と世田谷への提言を楽しみにしています。

すでに現地で活動を行い課題抽出をされているので、アイデアが具体的だと思いました。「仮設住宅で孤独死を出さない」という大きなテーマに対して、ご自身たちが得意とされる施策で課題解決するという試みに共感いたします。ぜひ、この活動を通じて得たさまざまな気付きのフィードバックを期待しています。

企画書やプレゼンに熱を感じました！芦花公園での経験の蓄積が被災地で活かされるのは素晴らしいことだと思います。また、人材の発掘など、地元の力量を高めることをいろいろ工夫されていると思います。亶理町の他の仮設住宅にも広がるといいですね。

「縁日でくともだち」といういかにも楽しそうな響きに誘われて、仮設住宅で暮らしている皆さんが、閉じこもることなく外に出てきて楽しい時間を過ごすことができそうです。縁日以外にも、そこで暮らす皆さんのいろんなアイデアが実現できるとよいと思います。

現地活動の経験があり、活動に勢いを感じました。2年間継続的に活動を行うということですが、今後とも着実に活動できそうです。

「地元の人々が張り合いのある日々を過ごし、自分たちでコミュニティを築き、そして継続するよう支援することが目標の活動」とあり、活動経験の区への還元を大いに期待します。

テントや発電機も財産となるので、その後も地域で有効に活用できると良いと思います。

私は活動に関係があったので票は入れませんでした。世田谷（芦花公園）でのノウハウを活用して、東京からなにかをやってあげに行くのではなく、地元の人が自分たちで行う活動を手伝い、仮設住宅のコミュニティづくりを支援する活動は重要だと思いました。

また、「コンパクトな縁日」という方法も具体的でわかりやすかったです。